

「人権尊重社会の実現」に関する満足度アンケート実施報告

「人権尊重社会の実現」に関する満足度アンケートの実施結果を 下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成22年11月11日から平成22年11月29日まで
- 2 対象者数 1361名
- 3 回答数 887名
- 4 回答率 65%
- 5 回答者属性

【性別】

	男 性	女 性
回答者数	482名	405名
構成比	54.3%	45.7%

【年齢階層別】

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
回答者数	71名	207名	246名	188名	126名	49名
構成比	8.0%	23.3%	27.7%	21.2%	14.2%	5.5%

【地域別】

	北 勢	中南勢	伊勢志摩	伊 賀	東紀州
回答者数	429名	224名	115名	90名	29名
構成比	48.4%	25.3%	13.0%	10.1%	3.3%

※構成比については、小数点第二位を四捨五入しているため、合計は100%になりません。

※北勢・・・四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢・・・津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩・・・伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

伊賀・・・名張市、伊賀市

東紀州・・・尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

アンケート結果の概要

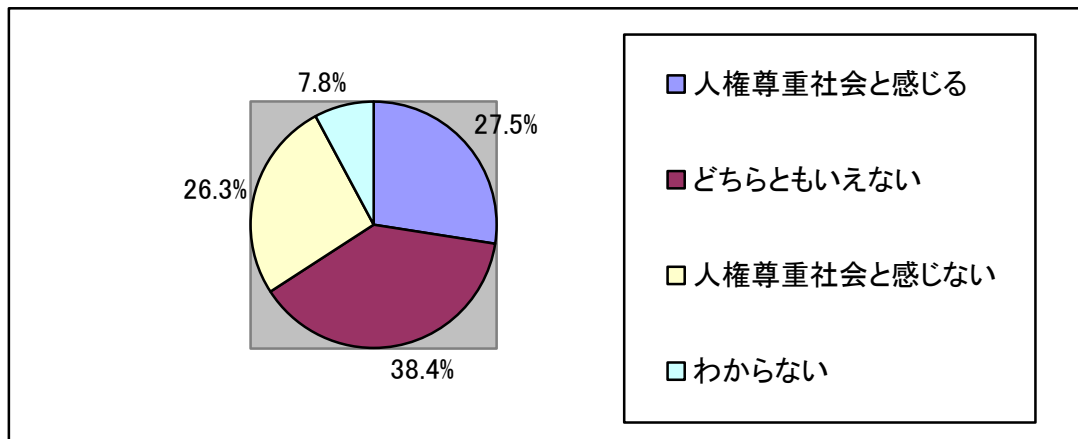
設問1 人権尊重社会について、「感じている」と回答された方が 35名(3.9%)、「どちらかといえば感じる」と回答された方が 209名(23.6%)と「人権が尊重されている社会になっていると感じる」と回答された方が 244名(27.5%)でした。

一方、「感じない」と回答された方が 81名(9.1%)、「どちらかといえば感じない」と回答された方が 152名(17.1%)と「人権が尊重されている社会になっていると感じない」と回答された方が 233名(26.3%)でした。

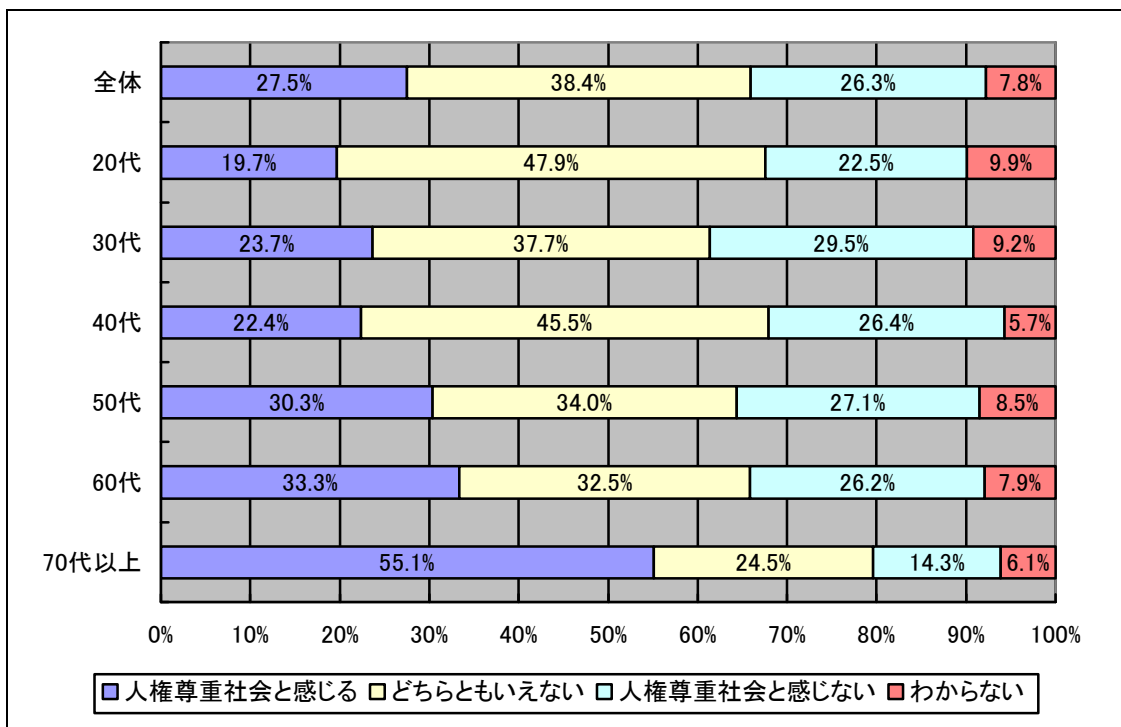
なお、「どちらともいえない」と回答された方が 341名(38.4%)、「わからない」と回答された方が 69名(7.8%)でした。

【総計】

単位：%



【年代別】



設問2 設問1で回答した理由について、「人権が尊重されている社会になっていると感じる」理由、「人権が尊重されている社会になっていないと感じない」理由など自由にご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

【人権が尊重されている社会になっていると感じる理由】

- ・自分、又は自分の回りで差別がない（なくなった）、若しくは聞かない
- ・障がい者の雇用が進んでいる
- ・会社や学校、地域で差別意識が少なくなっている
- ・広報や講演会・研修会など啓発活動が行われている
- ・会社など社会的に男女格差の是正がされている
- ・障がい者用の駐車スペースの整備や公共施設のバリアフリー化など、ユニバーサルデザインの取組が進んでいる
- ・学校において、人権教育が多くされている

【人権が尊重されている社会になっていないと感じない理由】

- ・会社や家庭で男女格差がある
- ・障がい者の雇用が少ない
- ・差別等の話が身近にある
- ・部落差別の話を聞いたことがある
- ・性別で就職差別がある
- ・公共的な施設で障がい者・高齢者用設備の整備が不十分
- ・障がい者に対する理解が十分でない

※自由意見欄において、「身近に差別がある」という意見や「差別の話を聞いている」という意見を記述された方へ

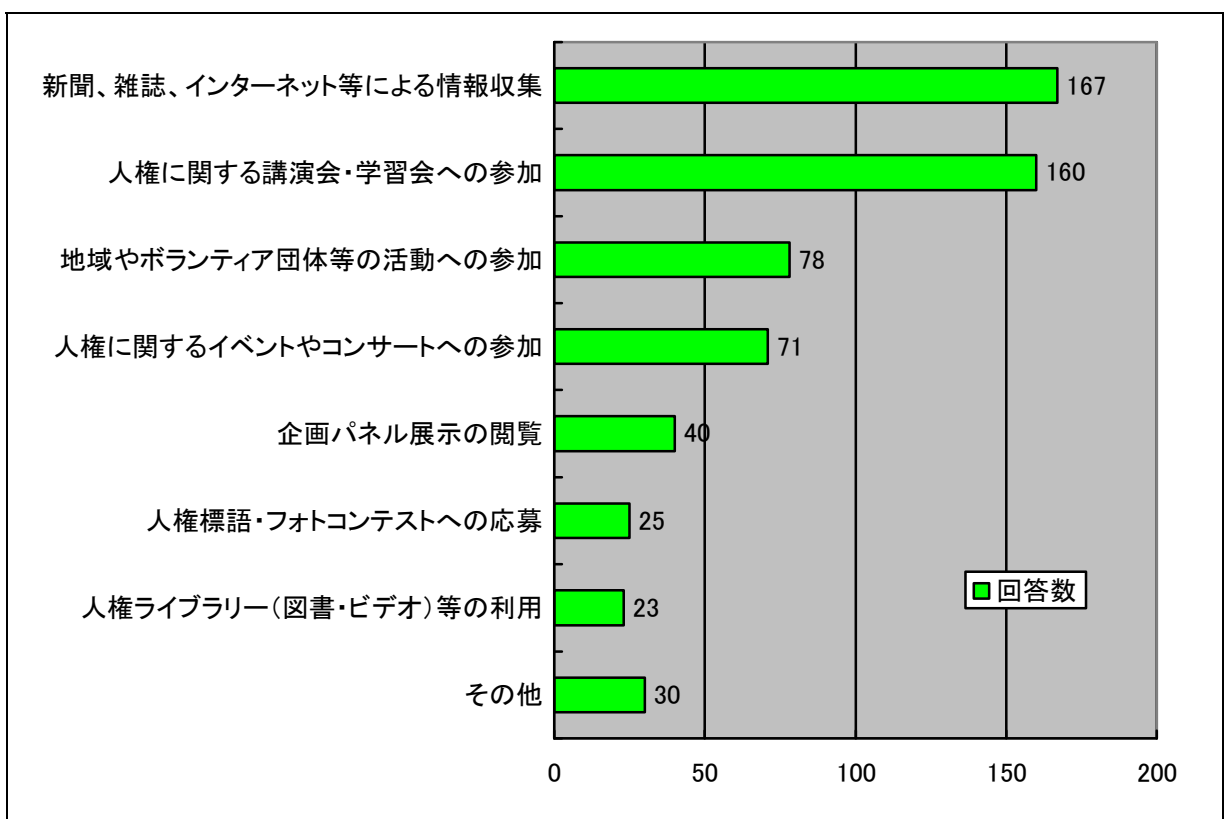
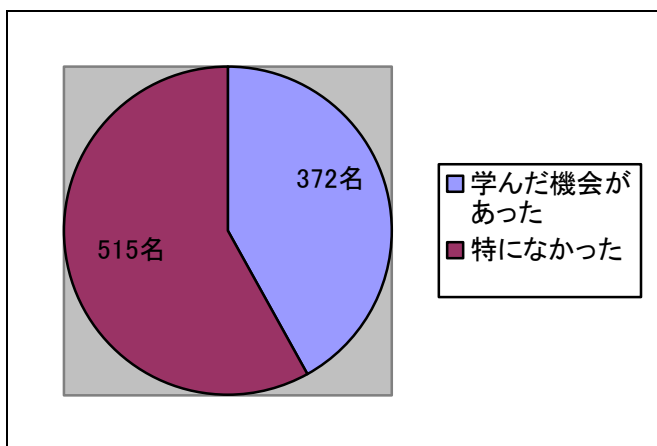
・差別を受けて困っている場合（困っている方がいる場合）、三重県人権センター等公的な機関でご相談を受けていますので、下記のホームページをご覧ください、記載の連絡先等へお問い合わせください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/soudan/soudan.htm>

設問3 人権に関して学んだり知識を得た機会について、機会があった方は 372名 (41.9%) で、特に機会がなかった方は 515名 (58.1%) でした。

また、その機会について、「新聞、雑誌、インターネット等による情報収集」が 167件、「人権に関する講演会・学習会への参加」が 160件、「地域やボランティア団体等の活動への参加」が 78件、「人権に関するイベントやコンサートへの参加」が 71件でした。

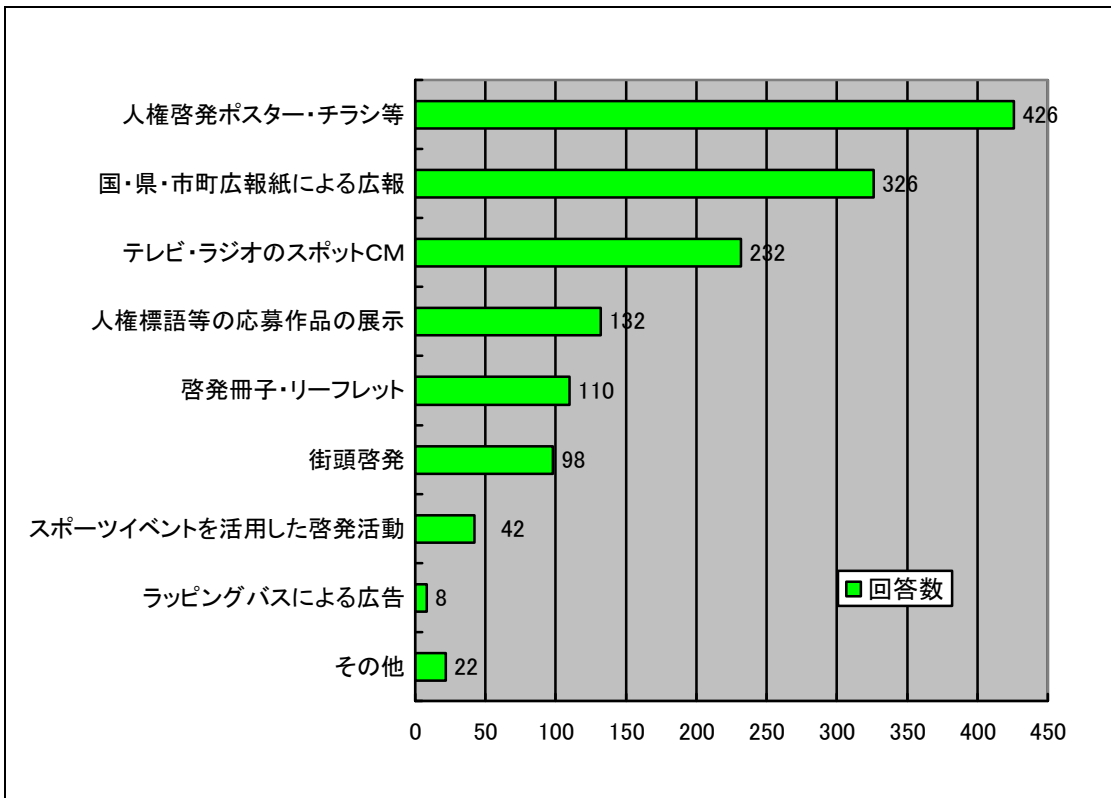
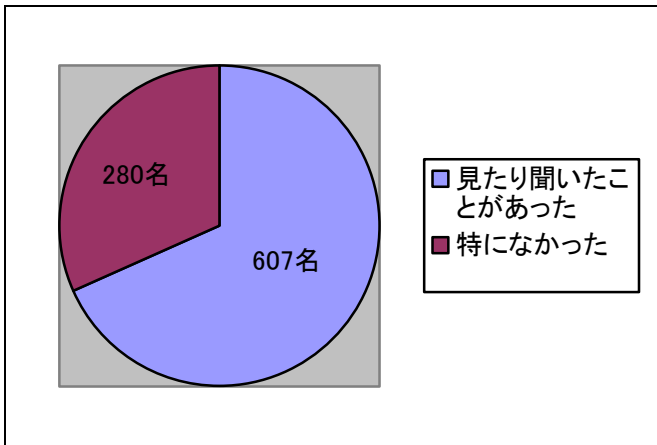
「その他」の回答では、「職場での研修」、「小学校の人権集会」や「自治会の懇談会」などといったものがありました。



設問4 人権に関する啓発活動等について、見たり聞いたことがあった方は 607名(68.4%)で、特になかった方は 280名(31.6%)でした。

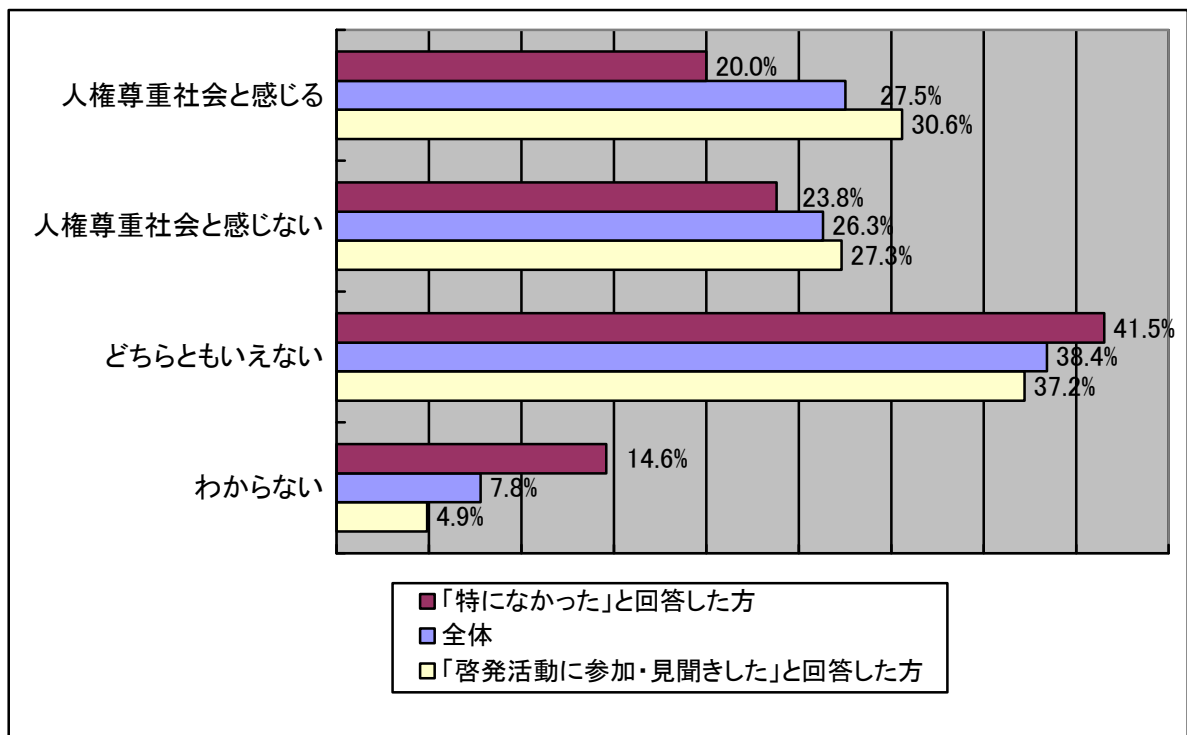
また、その取組について、「人権啓発ポスター・チラシ等」が 426件、「国・県・市町広報紙による広報」が 326件、「テレビ・ラジオのスポットCM」が 232件、「人権標語等の応募作品の展示」が 132件、「啓発冊子・リーフレット」が 110件でした。

「その他」の回答では、「会社での会報」や「テレビ・ラジオ等の番組」「新聞の記事」などといったものがありました。

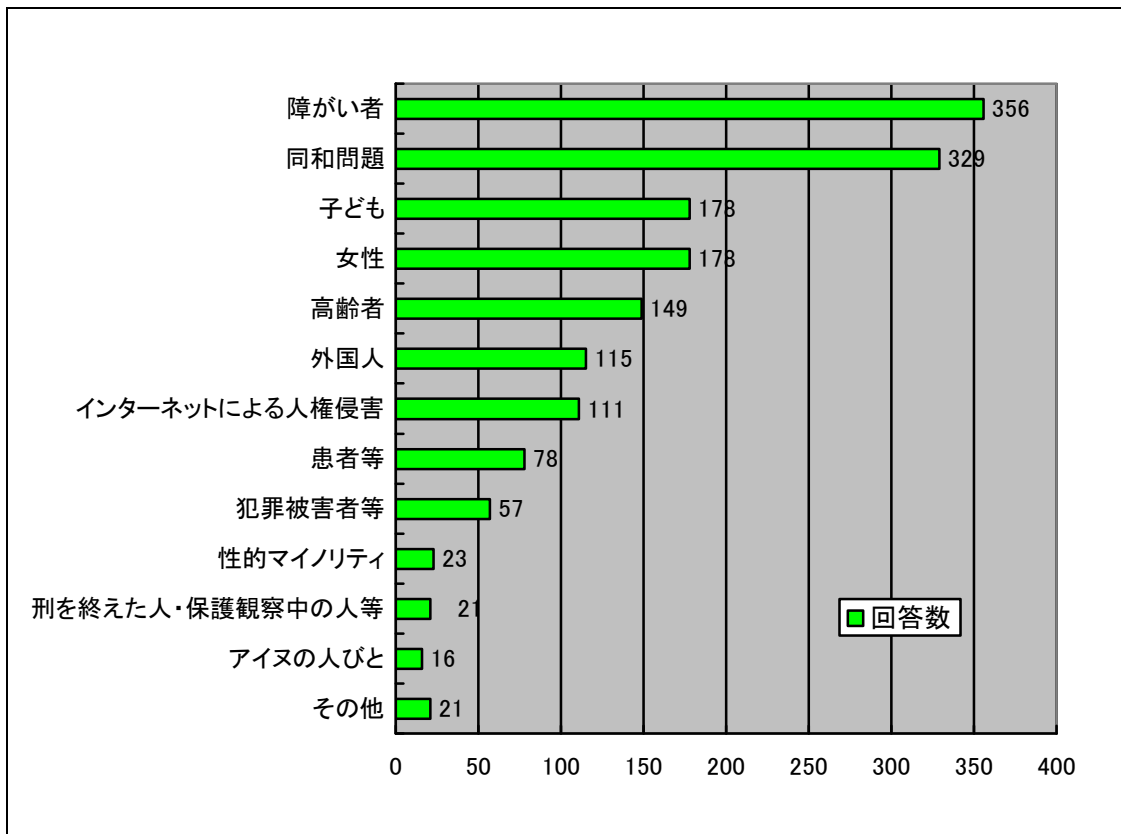


設問3および設問4の両方の設問で「特になかった」と回答された方は 260名(29.3%)で、そのうち「人権尊重社会になっているかどうか」の設問(設問1)に対して、「人権が尊重されている社会になっていると感じる」と回答された方が20.0%、「人権が尊重されている社会になっていると感じない」と回答された方が23.8%でした。また、「どちらともいえない」と回答された方が41.5%、「わからない」と回答された方が14.6%でした。

また、設問3または設問4のどちらかで、人権に関して知識を得たり、啓発活動を見聞きした方は、627名(70.7%)で、そのうち「人権尊重社会になっているかどうか」の設問(設問1)に対して、「人権が尊重されている社会になっていると感じる」と回答された方が30.6%、「人権が尊重されている社会になっていると感じない」と回答された方が27.3%でした。また、「どちらともいえない」と回答された方が37.2%、「わからない」と回答された方が4.9%でした。



設問5 設問3または設問4において、関わりのあった人権問題について、「障がい者」が356件（21.8%）、「同和問題」が329件（20.2%）、「子ども」が178件（10.9%）、「女性」が178件（10.9%）でした。



設問6 人権が尊重される社会の実現のための取組について、519名の方から改善すべき点や新たに取り組むべき点など自由にご意見をいただきました。このうち、主な意見は下記のとおりでした。

- ・「誰でも身近に参加（体験）しやすいイベントの実施」や「お互いの相互理解が深められる研修会の実施」など『啓発』に関する意見（121件）
- ・「子どもの頃からの学校での人権に関する教育の徹底」など『人権教育』に関する意見（116件）
- ・「NPOや地域活動での推進」や「あらゆる人が交流できる場の設置」など、『人権が尊重されるまちづくり』に関する意見（56件）
- ・「人権尊重に向けた一人ひとりの意識改革が必要」といった意見（41件）
- ・「ユニバーサルデザイン等弱者への環境整備」といった意見（14件）